



- ・「学校長寄稿」
- ・「芦北支援学校の進路学習」
- ・「各学部の取組」



## 「保護者の皆様、そして地域の皆様へ」

この度、4月に校長として赴任いたしました櫻井祐二です。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

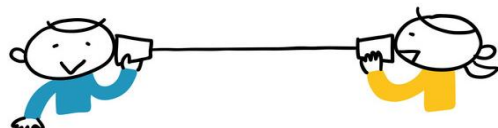
さて、この学校新聞のタイトル『いとでんわ』を目にしたとき、創刊当時の先人たちがこの名に込めた様々な思いを想像いたしました。私なりに考えると、それはきっと、学校とご家庭、そして地域の皆様に一本の温かい「いとでんわ」でつなぎ、子供たちの成長を共に喜び、小さな変化にも気づき合えるような関係性を願ったのではないのでしょうか。もし、この解釈が違っていたり、詳しい由来をご存知の方がいらっしゃいましたら、ぜひお教えいただけますと幸いです。

近年、ICTの進化は目覚ましく、私たちの生活やコミュニケーションの在り方は大きく変わりました。芦北支援学校でも、iPadが1人1台整備され、子供たちの学びや学校での様子をよりリアルタイムに、そして多角的に共有できるよう、ICTを活用し

た情報発信や連携を進めています。例えば、保護者連絡アプリ「すぐーる」、学校WebページやGoogleアプリを通して、日々の出来事や学習の進捗を迅速にお伝えしたり、時には動画や写真で具体的な活動の様子をご覧いただいたりすることで、保護者の皆様と地域の皆様と学校との「いとでんわ」が、より太く、明確なものになると考えています。

子供たちの学校や登下校の様子、ご家庭での変化など、どんな些細なことでも構いません。どうぞ、この「いとでんわ」を通じて、学校へお声をお聞かせください。私たち教職員は、皆様からの声に耳を傾け、ICTも積極的に活用しながら、子供たち1人1人の「Only One」の成長のために、きめ細やかな支援を続けてまいります。不安なこと、気になることがございましたら、いつでも遠慮なくご連絡ください。

様々なツールを効果的に活用し、「いとでんわ」の糸をより太く、強くしていくことで、子供たちにとって最善の学びと成長の場を、保護者の皆様、そして地域の皆様と共に創り上げていきたいと願っております。地域に開かれた学校として、今後も積極的に情報発信を行い、地域の皆様との連携を深めて参ります。



## 「進路学習」 ～地域支援の視点から～

近年、社会の変化に伴い、一人一人の個性や希望に応じた進路指導の重要性が高まっています。こうした中で、学校内だけでなく、地域社会との連携を通じた進路支援の取組が注目されています。

地域には、企業、自治体、地域住民など多様な人材と資源があります。これらを活用することで、実社会に触れ、将来を具体的に考えることができるのではないのでしょうか。

折に触れ、地域イベントに参加したりボランティア活動に参加したりしてみましょう。

夢の実現に向かうための、ヒントが隠されているかもしれません。（山中）



## 高等部佐敷分教室

### 「前期現場実習・校内実習」

6月2日（月）から13日（金）の10日間、2・3年生は現場実習、1年生は校内実習を行いました。

3年生は「つかもう」をテーマに、卒業後の自立した生活をイメージしながら取り組みました。今回の実習で分かった自分の良さは更に伸ばし、課題は改善を意識して、今後につなげてほしいです。2年生は、自分に合った仕事や働き方を「みつけよう」というテーマで取り組む中で、「働くこと」の楽しさ、大変さをより具体的に経験できたと思います。今回の頑張りや反省を次に生かしましょう。1年生は「挑戦／やってみよう」をテーマに、受注作業（鉄板のシール剥がし、磨き）や施設見学等を行いました。働く生活を通して、生活習慣を振り返り、時間管理の意識、職場でのマナー等を学び、卒業後の生活を考える良い機会となりました。（橋本信）



## 前期の各学部の取組

### 小学部

今年度も佐敷小学校3年生との交流及び共同学習に取り組んでいます。今年1回目の6月の交流では、互いに自己紹介を行った後、レクリエーションとして風船バレーを行いました。試合ごとにパートナーを決めて風船を手渡したり、試合に勝って「やったー」とタッチしたりして盛り上がりました。最後は交流の歌「ともだちいっぱい」を輪になって歌い、互いのことを知る良い機会になりました。(高木)



### 中学部

昨年度に引き続き、学期に1回聾学校に出向いて交流を行っています。6月4日は、ALT交流やプール掃除を協力して行いました。また、6月26日、27日は佐敷中学校との交流を行い、自己紹介やレクリエーションを通して、お互いの絆を深めることができました。同世代の様々な仲間と関わり、より良い学び合いの機会を今後も大切にしていきたいと思います。(兼武)



### 高等部

中学部と一緒に取り組んだ音楽の学習では、「絆ミュージックフェア」と題して、動物をテーマにした楽曲を鑑賞したり奏でたりしました。サンサーンスの「動物の謝肉祭」という曲に合わせて、ライオンの行進を表現したり、鳴き声を真似してドッシンドッシンと歩きながら大太鼓を鳴らしました。バレエ「白鳥の湖」では、白鳥の翼を腕につけて、優雅な白鳥になりきりました。身体いっぱい音楽を楽しみました。(園山)



### 訪問教育

小中高合わせて7人で学習に取り組んでいます。4月は、自己紹介カードを作成し、好きなものや目標をお互いに動画で発表しあいました。5月の「あしえんスポーツデー」の際は、音声を録音したスイッチを押して開閉会式の進行を行い、2チームに分かれて行ったボウリング競技の様子を動画で紹介するという形で参加しました。仲間を大切にしながら、一人一人の得意な動きを生かして学習に取り組むことができました。(寺川)



### 佐敷分教室

去る5月10日、数日前から心配されていた天候も回復し、「芦北高校・芦北支援学校高等部佐敷分教室体育大会」が開催されました。昨年度から芦北高校と芦北支援学校両校主催の行事となり、今年も運動場の掲揚台には2校の校旗が並んで掲揚されました。

例年プログラムの最後を飾る「マスゲーム」。今年から芦北高校と分教室生徒全員で踊る全校ダンスが加わり、大いに盛り上がりました。フィナーレで、両校生徒同士が肩を組み、それぞれの校歌を歌う姿は感動的でした。

体育大会本番に向けて、4月中旬から各競技やダンスの練習に熱心に取り組んできた生徒たち。当日はそれぞれがもつ力を精一杯発揮し、芦北高校との絆も感じられる素晴らしい体育大会となりました。(谷崎)



### あしえんインフォメーション

#### 〈2学期の主な行事〉

##### 本校舎

- ・9月1日 始業式
- ・9月30日～10月1日 (中高) 修学旅行
- ・10月14日～17日 オープンスクール
- ・11月1日 にこにこふれあい発表会
- ・11月13日 (小) 修学旅行
- ・12月24日 終業式

##### 佐敷分教室

- ・9月1日 始業式
- ・9月29日～10月10日 現場実習
- ・10月14日～17日 オープンスクール
- ・10月20日～31日 進路個別面談週間
- ・11月14日・15日 芦高祭
- ・12月3日～5日(分) 修学旅行
- ・12月24日 終業式



### 進路指導部より

分教室では、卒業後の就労に向けて年に2回現場実習を行い、実習後は、事業所の方からいただいた評価表を参考にしながら三者面談を行っています。今回も、分教室の生徒全員が卒業後の進路について考えを深め、自分の課題に向き合うことができました。

お世話になった事業所の皆様、お忙しい中ありがとうございました。これからも、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

「いとでんわ」は芦北支援学校の情報発信紙です。地域と共に成長する学校でありたいと考えています。関係者の皆様、地域の皆様のご意見をお待ちしています。

《御意見・問い合わせ》

TEL 0966-82-4627

FAX 0966-82-4606

MAIL [ashikita-s@pref.kumamoto.lg.jp](mailto:ashikita-s@pref.kumamoto.lg.jp)